

MISHOP WORLD 2005 第16回三鷹国際交流 フェスティバル

9月

25日
(日)

午前10時～午後4時
(小雨決行)
井の頭公園西園で

世界が三鷹に
やってくる!

(財)三鷹国際交流協会(MISHOP)主催、三鷹青年会議所共催、市後援。今年で16回目・毎年恒例となったフェスティバルが開催されます。

4つのゾーンに100を超えるテントが出店、小さな出会いから大きな国際交流の輪を広げよう!

※食器持参の方には、テントショップで飲食物の割引があります(一部、対象外のショップもあります)。

※車でのご来場はご遠慮ください。

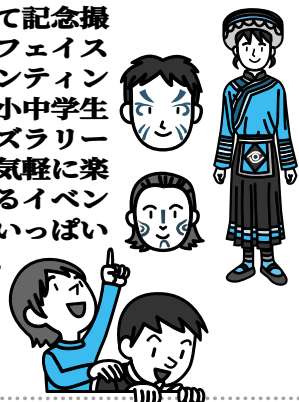
⇒同協会 43-7812

【ふれあいゾーン】

どんな国の人たちと会えるかな?

MISHOP会員による世界の人々との交流企画や日本文化の紹介ゾーン。

各国の人との交流や最新情報満載の「おしゃべりプラザ」、あこがれの民族衣装を着て記念撮影、フェイスペインティング、小中学生クイズラリーなど気軽に楽しめるイベントがいっぱいあります。



【ステージ・アトラクションゾーン】

会場内の特設ステージで、いろいろな国の楽しい音楽やダンスが繰り広げられます。

一日中、ワクワク、ドキドキ、みんな一緒にレッツダンス!



【テントショップゾーン】

世界中の美味しい食べ物や民芸品がいっぱい。テントを一つひとつのぞいてみてね。各国大使館やNGOなどが異国情緒たっぷりのお店をひろげています。お気に入りを探してみよう!



【交流ゾーン】

官公署、関係団体が出店しています。国際電話の無料通話体験、友好市町村物産コーナーに、防災・防災テントや起震車・煙体験ハウスなどの防災体験コーナーもあります。



三鷹市を訪れて

太宰治賞受賞の川本晶子さん寄稿

この頃さっぱり眠れない。不眠症なのだ。毎夜ジタバタしている。安眠できると言われて枕を買ったし、寝室のカーテンを変えてもみた。泳げない癖に、波の音を録音した熟睡テープなるものを聴き、溺れる恐怖と闘ったりもした。バカだと思ふ。原因ならわかってるのだ。今三鷹に住んでいて、これが高すぎる。何よりベッドが地面から遠い。上京してからこれ四半世紀、ずっと一階を選んで暮らしてきた。防犯を考え、慣れない三鷹に引っ越したのが失敗だったのだ。思えば不眠症に



風の散歩道で

案内して頂いた三鷹の街は、不思議と土の匂いがした。初夏の午後、「風の散歩道」をそぞろ歩き、山本三記

随ったのと、入居の時期はびたりと重なる。こんなにも地面を慕うのは、私が田舎育ちだからだろう。自慢めくが、小さい頃は肥だめにも落ちたし、野犬の子を盗んでこっそり育てたりもした。アケビを取りに行つて遭難し、消防団のお世話になったこともある。土の上を駆け回つて育つたクチだ。土にまみれ、土の匂いの中で大人になった。そこには祖父も祖母もいた。彼らに繋がる先祖も、あるいは小さな子供も、これから生まれる赤ん坊も、いっぱいいた。穏やかで、ぜんぶに眠れる時間だった。だからだろう、今でも土がなると不安になる。成長して放蕩娘になつてしまつたので、今さら田舎に帰ることはできないが、せめて都会の人工の覆いの下の土の匂いを嗅ぎたくて、地面の近くに暮らしてしまふ。

念館で「路傍の石」の巨大さに驚いた。書きこむに死んだ偉大な作家の、その脇の下を流れる冷たい汗が、ぼとりと落ちたかもしれない……。ここに大入したんです。教えられて玉川上水を覗き込んだ。アジサイが、そこに群れていて、その濃い紫の上を流れる風にも、やはり土の匂いはした。「そうですか。ここですか?」太宰治。若い日、夢中になつて読んだ作家だ。持ち扱いかねていた悩ましい思いを、この人は全部分かってくれている! そう独り決めて、感動していた。

改めて顔を上げれば、三鷹の閑静な家並みに重なる、かつての畳屋、薬局の、今は場所も付まいも世代も変わつてしまつただろう人々の暮らしぶりの、微かな残り香のようなものを嗅いだ気がした。ここは土を大切にしている街だと思つた。そんなにに扱へば、土はすぐに匂いをなくす。この街はそんな儚い宝物を、とても大切にしているのだと、つくづく羨ましくなつた。ここだから、きっと私も熟睡できそうな気がする。いいなあ、引越そうかなあ。散策の最後には、思わずそんな言葉を呟いていた。

「刺繍」で第21回太宰治賞を受賞した川本晶子さんが、6月19日の桜桃の日に三鷹を訪れたときの印象について寄稿してくださいました(同じく第21回太宰治賞を受賞した津村記久生さんの寄稿文を前号に掲載しています)。

Books Books Books Books Books Books Books Books Books Books Books Books Books Books Books Books Books



189

かくれんぼの本

今回は、いろいろなものがかくれている本を5冊紹介してみます。

見つけるわくわく感を味わってみませんか。

ここで紹介した本をお読みにしたい方は、図書館までお問い合わせください。

「あげたおはなし」

中山千夏 文/安西水丸 絵

「てんぶらあげた」「あたまをあげた」など「あげた」という言葉がいっぱい出てきます。それぞれ違う意味の言葉遊びを楽しんでください。



「むしのにんじやたち」

海野和男 写真/世界文化社
この葉っぱやぶれていくの、でもよく見ると、あれ、虫の形みたい。上手にかくれる「にんじや」のような虫たちを大きく見やすい写真で紹介しています。



「うしろにいるのはだれ」

まいつのり 作/童心社
黄色い傘にかくれているのは誰? 少し見えている姿から当ててみてください。次から次へ、かくれんぼうしている友だちがでてきます。



「もりのえほん」

安野光雅 作/福音館書店
字のない絵本で、ペンで描かれた美しい森の風景が続きますが、よく眺めていると……? 見るたびに新しい発見のある一冊です。

三鷹市長
メールマガジン
メッセージ、活動記録、部課長コラム、新着情報
三鷹市ホームページ・同携帯サイトから登録できます。

三鷹市 みるみる三鷹
武蔵野三鷹ケーブルテレビ5ch
1日4回放送
9:30/12:00/19:30/23:30

●第221回(9月4日～17日)
三鷹駅南口駅前広場に
保水性舗装導入/「みたかの縄文遺跡展」

三鷹市市政情報番組
おはよう!三鷹です
FMむさしの78.2MHz
月～金曜日10:20～25放送

広報みたかは三鷹市シルバー人材センター会員がお届けしています。
→シルバー人材センター
48-6721

三鷹図書館 43-9151